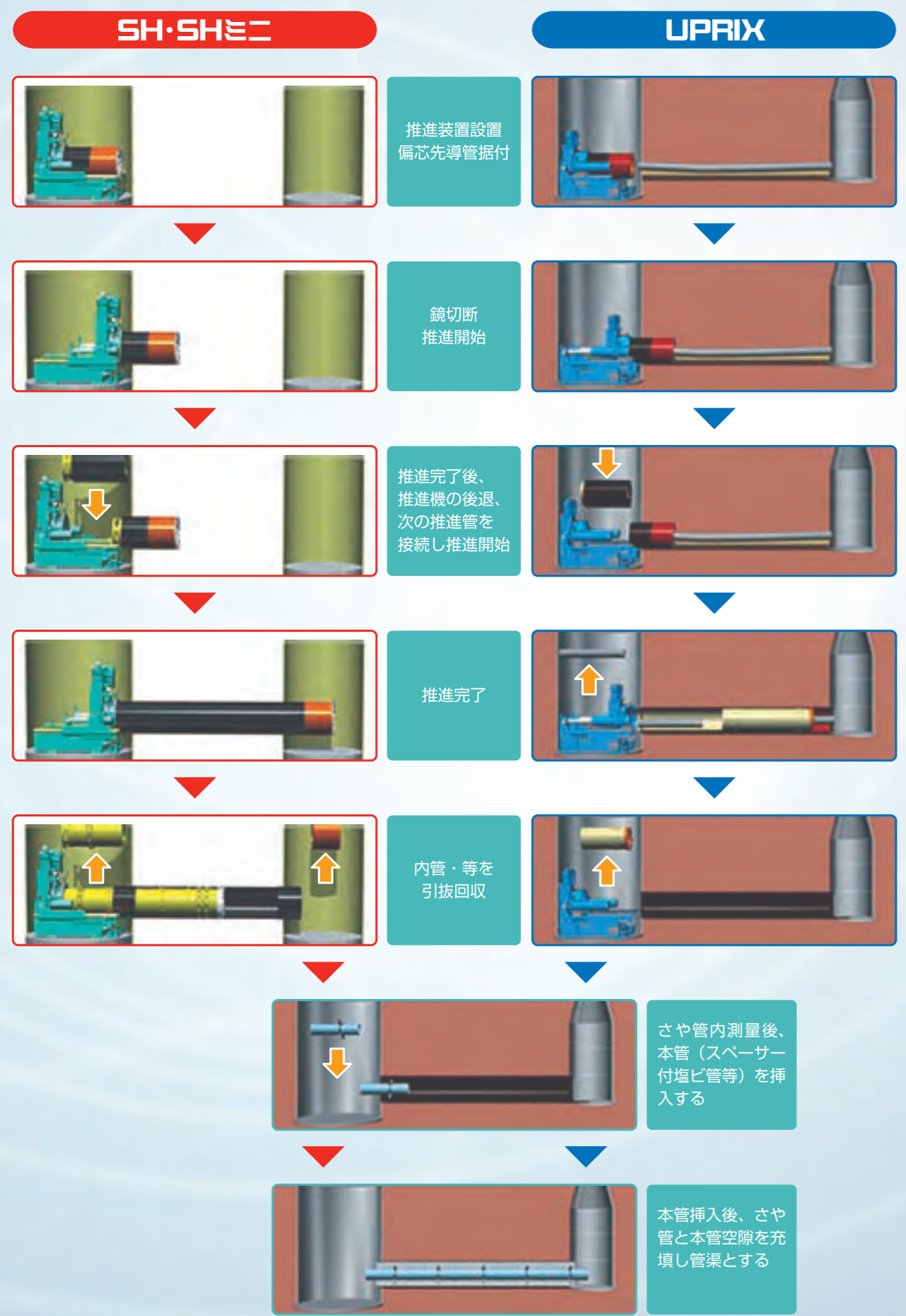


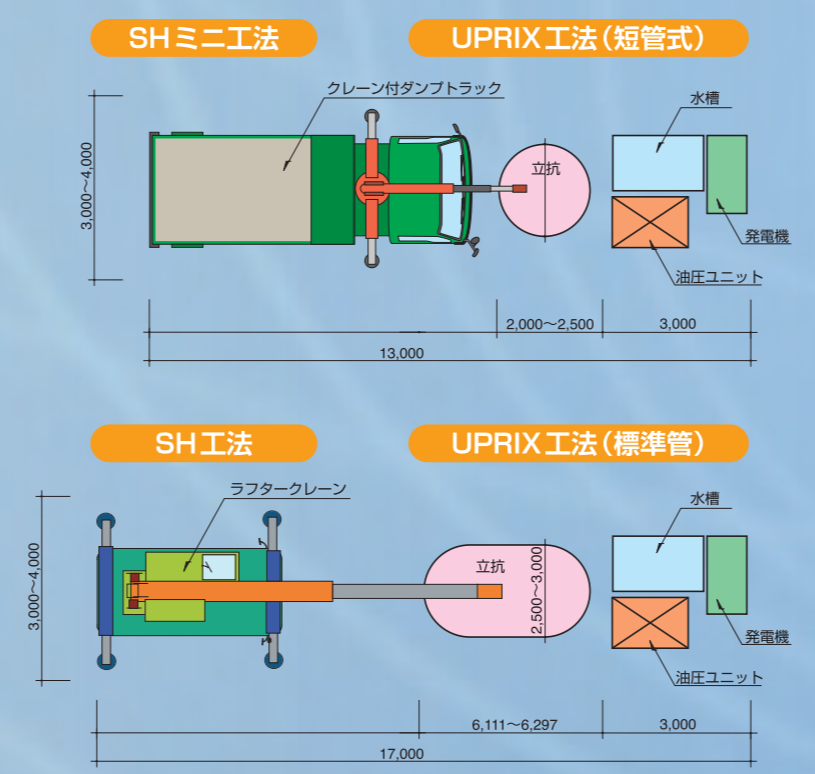
# 作業フロー図



# 適用範囲

| 工法      | 推進管呼び径 (mm) | 使用する推進管 1本当たりの長さ (m) | 適用推進機   | 発進立坑     |           |
|---------|-------------|----------------------|---------|----------|-----------|
|         |             |                      |         | 種類       | 形状寸法 (mm) |
| SHミニ工法  | 400~600     | 1.0                  | SH-46型  | 小型立坑     | 2000      |
|         | 600~1000    |                      | SH-610型 | ライナープレート | 2500      |
| SH工法    | 400~600     | 3.0                  | SHM600型 | 鋼矢板      | 2400×6400 |
|         | 700~1000    |                      |         | SHM800型  | ライナープレート  |
| UPRIX工法 | 600         | 1.0                  | SH-46型  | 小型立坑     | 2000      |
|         | 800         | 1.0                  | SH-610型 | 小型立坑     | 2500      |
|         | 600         | 3.0                  | SHM600型 | 鋼矢板      | 2400×6400 |
|         | 800         | 3.0                  |         | ライナープレート | 2500×6111 |
|         |             |                      | SHM800型 | 鋼矢板      | 2800×6400 |
|         |             |                      |         | ライナープレート | 3000×6140 |

# 作業帯標準図



# 電力設備一覧

(SH・SHミニ・UPRIX工法)

| 適用推進機   | 発電機容量  | 適用推進機   | 発電機容量  |
|---------|--------|---------|--------|
| SH-46型  | 75kVA  | SHM600型 | 100kVA |
| SH-610型 | 125kVA | SHM800型 | 125kVA |

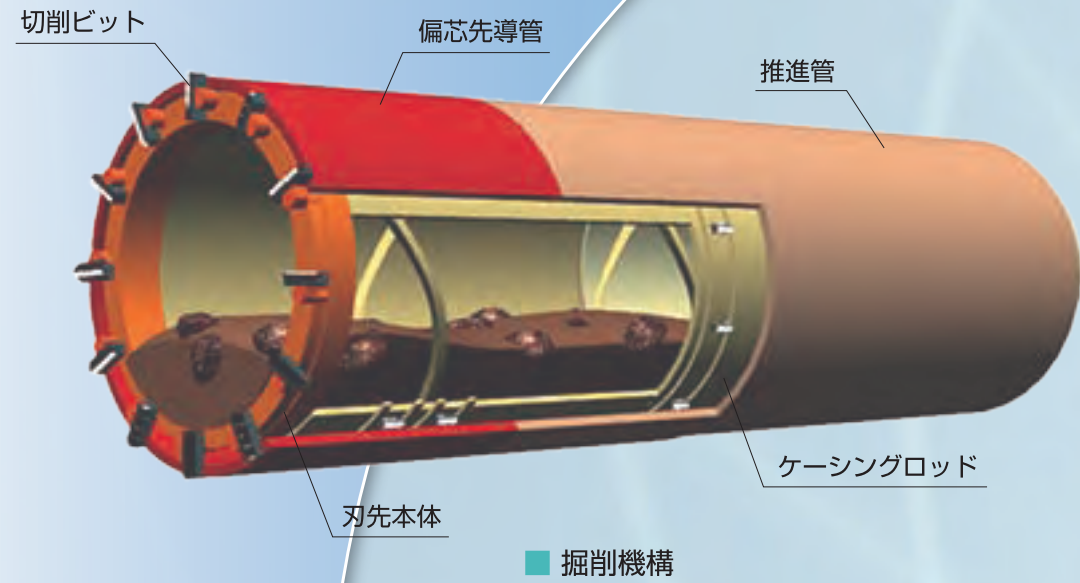
# SH工法 SHミニ工法 UPRIX工法



NETISとは…  
国土交通省は、新技術の活用のため、新技術に関する情報の共有及び提供を目的として、新技術情報提供システム (New Technology Information System: NETIS) を整備しました。NETISは、国土交通省のイントラネット及びインターネットで運用されるデータベースシステムです。

**SHスーパー工法協会**  
東京都墨田区堤通1-19-9 (大林道路株式会社内)  
Tel 03-3618-6543 Fax 03-3618-6543

# SH工法・SHミニ工法



## SH工法・SHミニ工法の概要・特徴

SH工法 (Seya's Horizontal Method) 及びSHミニ工法は水平ボーリング方式 (二重ケーシング式) で鋼管を推進し、貫通後、管内に調整スペーサーを取付けた本管を布設し、空隙を充てんして目的に合った種々の管路を築造する工法です。  
特徴として以下が挙げられます。

- ▶ 軟弱地盤から祖石・巨石混じり土、岩盤迄、推進対象土質の適応範囲が広い。
- ▶ 既設マンホール、既設シールドトンネル等へ直接到達させることが出来る。
- ▶ 発進立坑では、通常支圧壁を必要としない。
- ▶ 調整スペーサーの使用により、布設本管の仕上がり精度がよい。
- ▶ 本管は、二重管構造 (さや管方式) により漏水が無い
- ▶ 地中障害物 (松・PC等の杭および鋼矢板の存置された山留材) が切断できる。



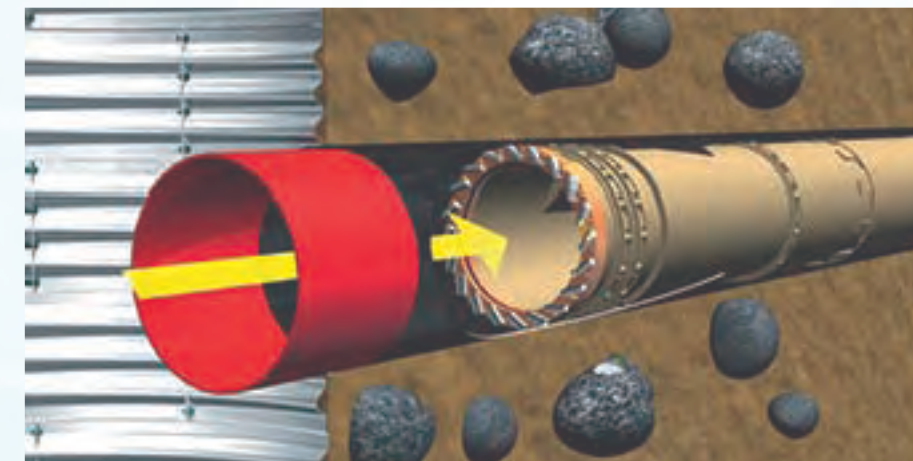
■ 排土状況 (ケーシングロッド内)



■ 帯水層における取込制御装置を用いた掘削状況



■ コンクリート杭切断状況



■ 到達後内管引抜状況 (切削ビット交換時・障害物回収時における内管引抜状況)

## 各種切断



鋼製矢板切断



コンクリート



既設マンホール切断



橋脚基礎切断



松杭切断



鋼管杭切断

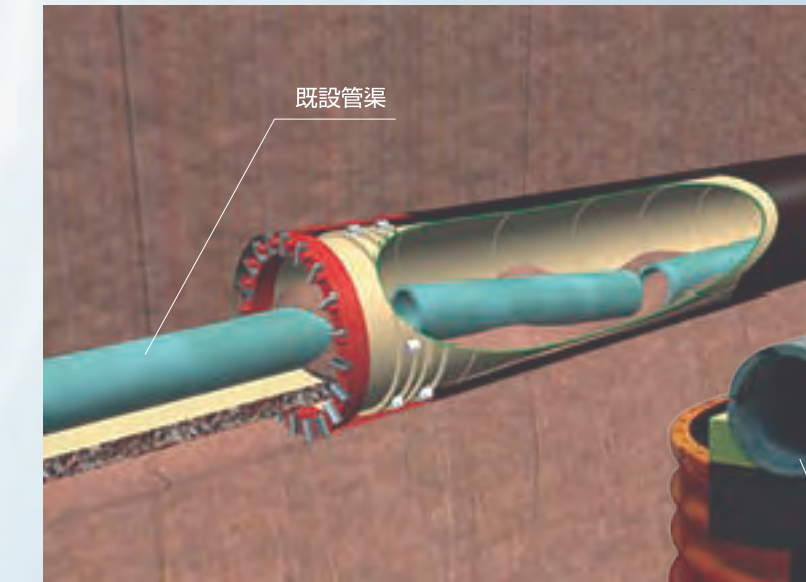
# UPRIX工法

(改築推進工法・引抜方式)

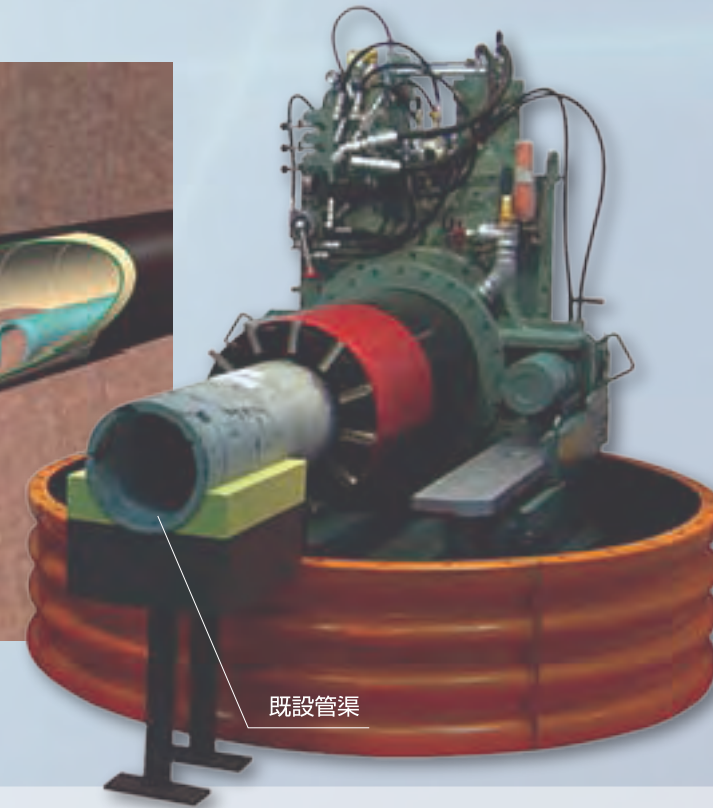
## UPRIX工法の概要・特徴

UPRIX工法は既設管にその外径より大きいケーシングを回転させて押し込んで既設管を破碎、あるいはそのまま内部に取り込んで回収した後、貫通後、管内に調整スペーサーを取付けた新設管を布設し、空隙を充てんして管路を新設する推進工法です。  
特徴として以下が挙げられます。

- ▶ 既設マンホールに到達が出来るため、到達立坑はいらない。
- ▶ 新設管 (塩ビ管) は既設管と流下能力は同等以上である。
- ▶ 鋼製さや管と新設管の複合構造となるため、耐震性に優れている。



■ 改築推進状況



既設管渠

## 施工例



既設マンホール到達



既設管・掘削土排土